

令和7年10月臨時会あいさつ

皆さまおはようございます。

本日ここに、久山町議会10月臨時会を招集いたしましたところ、議員全員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。この度の久山町議会改選を経て、はじめての議会が開催されるに当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

まずは、厳しい戦いを乗り越えご当選されました議員の皆さまに心からお祝いを申し上げます。これから、皆さまとは首長と議会という立場で、町のさらなる発展に向けてそれぞれの役割を果たしていくこととなります。

私たちが暮らす久山町はこれまで60年以上にわたり、国土・社会・人間の3つの健康づくりを軸に、個性的なまちづくりを展開してきました。その成果は、豊かな自然環境を残しながらも、人口の増加、高齢化率の低下、出生率の上昇などを実現しており、最近では、30年後も労働力人口が減らない町、幸福度の高い町として、多くのメディアで取り上げられ、国内外からも注目されるようになっていきます。

しかし、全国的に進んでいる人口減少や少子高齢化の波は、いずれ本町にも大きな影響を及ぼし、地域経済の低迷につながることが予測されます。さらに、高度経済成長期に建設されたインフラの老朽化やデジタル技術の推進などによるコスト増への対応、毎年発生する自然災害への防災力強化など、さまざまな対策が必要となってきます。

それらの困難な課題に立ち向かうためには、国土・社会・人間の3つの健康づくりをさらに発展させ、次のステージに挑戦していくことが大切です。しかし、その挑戦は、前例や答えのない厳しい道を、前へ進んでいかなければなりません。

そのためには、直接選挙で選ばれた首長と議会が、目的を共有し、それぞれの立場から、町

民の皆さまの今と未来の暮らしの豊かさを向上させ、作っていく。それが何より大切だと捉えています。

そして、首長と議会がお互いに、町民の皆さんの生活に根差した身近なニーズを把握し、議論を展開していくことは、目的を達成するための1番の近道であると考えています。

ぜひ議会の皆さまには、このチャレンジと一緒に成し遂げてまいりたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げ私のあいさつとさせていただきます。

令和7年10月8日

久山町長 西村 勝